

GD-013 Version 2.0 取扱説明

gravitational drive zero-thirteen

この度は Ovaltone の製品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。
製品を快適にお使い頂く為に、この取扱説明書を良くお読み下さい。

使用上の注意点(重要!)

※本機の電源には安定化済み AC アダプタ(DC9V、センターマイナス) あるいは 9V 乾電池を使用してください。非安定化アダプタなどを使用するとノイズや故障の原因になる場合があります。

※TONE ノブの軸はプラスチック製ですので、無理な力を加えないで下さい。軸折れの修理は保証対象外となります。

※使用、保存される場所は高温、多湿、ほこり、水を避けて下さい。故障、火災、感電の原因になる場合があります。

※製品を分解、改造しないで下さい。火災、感電の原因になる場合があります。また、音質や音色が損なわれる可能性があります。

※AC アダプターを使用される際は、次の事柄に注意してください。火災、感電の原因になる場合があります。

- ・指定の規格(入力:AC100V 50/60Hz、出力:DC9V、センターマイナス、2.1mm)に合ったものをご使用下さい。
- ・AC アダプタの放熱に十分注意して下さい。
- ・濡れた手で抜き差ししないで下さい。
- ・コンセントから抜くときはコード部を引っ張らず、本体を持って抜いて下さい。
- ・長期間使用しないときは AC アダプターを抜いて置いて下さい。
- ・コンセントの指し口に、ほこりを溜めないで下さい。

※分岐式の電源供給器（パワーサプライ）を使用される際は、次の事柄に注意してください。故障の原因になる場合があります

- ・使用するエフェクターの消費電流の合計が、電源供給器(パワーサプライ)の供給可能な消費電流量を上回らないようにして下さい。消費電流に余裕のあるものをお使い下さい。
- ・センターマイナスのものをお使い下さい。
- ・電源供給器(パワーサプライ)がオンの状態で、既に 1 つ以上のエフェクターに接続されている場合、パワーサプライケーブルのプラグの外側の金属部分をエフェクターの金属ケース（外装）に接触させないで下さい。一度電源供給器(パワーサプライ) をオフにしてから接続して下さい。

※使用しない時は INPUT ジャックからプラグを抜いて下さい。電池の消耗を抑える事が出来ます。また、長期間使用しない場合は液漏れを防ぐ為、電池を抜いて下さい。

※電池のプラスとマイナスを間違えないで下さい。故障、液漏れの原因になる場合があります。

※製品を落としたり、無理な力を加えないで下さい。故障の原因になる場合があります。

※トゥルーバイパスの為、INPUT と OUTPUT を逆に接続しても OFF 時には音が出ます。お間違えのない様、お気を付け下さい。

※オペアンプは故障時のメンテナンスの為、ソケットを使用しています。ご自身での交換はお控え下さい。

■特徴■

GD-013 Version 2.0 は DIST./VIN./O.D. の 3 段階の歪みモードと中域の太さを 3 段階から選択可能な FAT スイッチを搭載したモダンテイストのバーサタイルドライブペダルです。

初代 GD-013 の特徴である適度にまとまった周波数レンジ、アタックには素早いレスポンス、サスティーンには心地良いコンプレッションと密度の高い倍音構成という組み合わせを持ち、深めのディストーションでもアタックがはっきりと出力され、コード感もなくならないという特徴はそのままに、DRIVE の歪み量、FAT スイッチで盛ることのできる太さの上限をとともに引き上げ、より力強い表現を可能としました。

その他初代 GD-013 からの変更点としては、VIN. モード時の音量の大幅な増加を抑え他モードとの行き来がスムーズになった点、左側の FAT スイッチが押し出す帯域を中域から下を少し広げサウンドの安定感が増した点、外観が変更され TONE ノブが光る点が挙げられます。

初代 GD-013 に引き続きギタリスト後藤貴徳氏とのコラボレーション開発モデルです。

■電源■

安定化済みの AC アダプタまたはパワーサプライ(DC9V、センターマイナス、2.1mm)あるいは 9V 乾電池が使用可能です。

■消費電流■

約 14mA (DC9V)

■コントロール■

ON/OFF

オン、オフのフットスイッチです。オフ時はトゥルーバイパスです。

DRIVE

歪み量を調節します。ゲイン量だけでなく位置によって太さや濃度が変わります。上げるほどゲインと共に太さが増し、リード向きのサウンドになり、控えめに設定するとスッキリとしたバックিং向きのサウンドになります。

TONE

高域の量を調節します。12 時まではトレブル成分を調整し、12 時を越えるとプレゼンス 域を延ばして行くような効き方をします。接続するアンプの特性によっては変化が小さく感じる可能性があります。オープンな高域が確保されたクリーントーンに接続するのがおすすめです。

VOLUME

出力音量を調節します。

FAT

ミッド、ローミッドを帯域を中心に音量をブーストします。x1,x2,x3 と数字が増えるごとにその量が増えます。

MODE

3 種類のモードから歪みのキャラクターを選択します。

【DIST.】

ディストーションモード。一番深い歪が得られます。

【VIN.】

クラシックロックなどに最適な、飽和感のある、野太い中域とジリジリとした高域のダーティーな歪が得られます。

【O.D.】

オーバードライブモード。トーンを上げれば単体での鋭いクランチ、下げればブースター的な使用に最適な滑らかなオーバードライブサウンドが得られます。

■サイズ■

74(W)x120(D)x58(H)mm

■重量■

約 290 g

